

第3次小牧市地域福祉計画及び地域福祉活動計画体系図案

基本理念

あなたが主役
助け合いの輪でつながるまち
こまき

基本目標

重点事業

基本目標1 福祉の担い手づくり

- ・子どもから大人まで、地域に住むすべての人が
支え合って共に生活していることを理解する
- ・地域の担い手を増やせるように、育成や参加の
きっかけづくりが必要
- ・さまざまな人が関わることで新たなつながりが広がる

重点事業1 福祉教育を通じた人材育成の充実

- ①小・中学生から高校生、大人までつながる福祉教育の充実 <市・社協>
各世代における福祉教育プログラムの構築により福祉教育の推進を図る
- ②ボランティア勉強会の継続 <社協>
分野別ボランティア勉強会の開催し、ボランティア意識の維持・向上を図る
- ③誰もが参加できる地域福祉活動の推進 <市・社協>
区単位の福祉活動の推進を通じて人材を育成する
福祉教育の視点でのボランティアポイント制度を検討する
- ④福祉人材の育成(福祉講座の充実)<市・社協>
地域に出向いての地域福祉の担い手の養成する
認知症サポーターステップアップ講座、小牧市の介護予防を推進するための担い手づくりを行う

基本目標2 地域づくり

- ・地域で活躍している団体等の活動を集約
- ・自分たちの地域に必要なこと、できること・
ある資源などを話し合う
- ・自分たちの地域にあった、地域づくりを地域
活動や新たなつながりを通して作り上げていく

重点事業2 支援を必要とする人を支えるネットワークの構築

- ⑤各地域でのニーズ発掘・課題共有の場の設定 <市・社協>
小学校区単位の『ふくし座談会』の開催を通じたご近所福祉ネットワーク
の構築を目指す
- ⑥地域福祉に関する適切な情報提供 <市・社協>
地域福祉活動の基礎となる資源マップ、要支援者情報等を提供する

重点事業3 地域に根ざした支援体制づくり

- ⑦総合相談体制の充実 <市・社協>
地域支え合い推進員を計画的に配置する。
サロンに相談機能を持たせ、地域内総合相談の拠点として位置づける

基本目標3 基盤(活動)づくり

- ・地域に期待される役割が大きくなってきている
ことを理解
- ・住み慣れた地域で誰もが住み続けられるよう、
住民主体の活動を活性化する
- ・安定的で継続的に住民主体のサービスが提供
できるよう、基盤をつくる

重点事業4 地域見守り体制の充実

- 居場所(来る見守り) ⇒ 訪問(出向く見守り) ⇒ 生活のしづらさ支援(ちょっとしたボランティア活動)
- ⑧【来る見守り】居場所づくりによる見守り体制の充実 <市・社協>
地域の居場所の”地域の福祉拠点”に向けた支援を行う
例) 専門職派遣、フードバンク事業を活用した食料提供、移動販売事業者との連携
 - ⑨【出向く見守り】住民主体の訪問活動による見守り体制の充実
避難行動要支援者台帳の活用した平常時からの見守り体制の構築に向けた支援を行う
制度の狭間に対するニーズに対応するため、住民参加型サービスの構築に向け、検討を行う

重点事業5 災害時の要支援者対策

- ⑩避難行動要支援者・支援者に対する情報伝達・活動支援 <市・社協>
地域における避難行動要支援者台帳の活用した地域防災活動の支援を行う(再掲)